DENSO
Crafting the Core

# ＣＳＲ報告書　２０２２

株式会社デンソートリム
DENSO TRIM CORPORATION

目次


１．会社概要　2
　１－１．会社概要
　１－２．トピックス

２．社長メッセージ　4

３．製品概要　5
　３－１．二輪製品
　３－２．四輪製品

４．デンソートリムのＣＳＲ　7
　４－１．基本的な考え方
　４－２．デンソーグループサステナビリティ方針
　４－３．デンソーグループ社員行動指針
　４－４．デンソーグループスピリット

５．社会性報告　9
　５－１．お客さまとともに
　５－２．社員とともに
　５－３．地域・社会とともに

６．環境報告　２０
　６－１．デンソートリム環境方針
　６－２．環境推進体制
　６－３．環境行動計画
　６－４．法規順守状況
　６－５．生産環境負荷削減
　６－６．2021年度環境活動状況まとめ


本社敷地全景

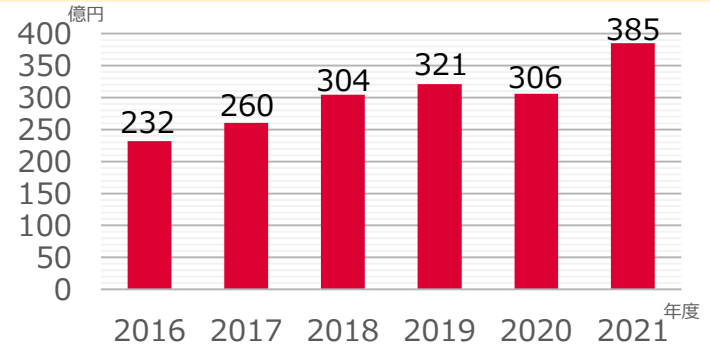
# １．会社概要

## １－１．会社概要

| | |
|---|---|
| 社　　名 | 株式会社デンソートリム |
| 所　在　地 | 〈本社/本社工場〉<br>〒510-1222<br>三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460<br>〈大安工場〉<br>〒511-0296<br>三重県いなべ市大安町門前1530<br>（株式会社デンソー 大安製作所内） |
| 設　　立 | １９９０年３月３０日 |
| 操　　業 | １９９１年１１月２日 |
| 代　　表 | 取締役社長　水野　功 |
| 資　本　金 | ３億１千万円 |
| 従業員数 | ９３０名（２０２２年３月末現在） |
| 事業内容 | ・二輪車用発電装置<br>・電子式エンジン制御装置<br>・排気センサ<br>・排気温センサ<br>・ハイブリッド車用電池監視装置<br>・灯火制御装置<br>・PTC素子応用製品<br>・EGRガス温度センサ<br>・クランク角センサ<br>・燃料ポンプ制御装置<br>などの製造 |

※詳細はP5,6の
製品概要をご覧ください

売　上　高



# １－２．トピックス

**関連するSDGs**

## （１）クランクセンサ移管 TOPIC

2021年11月にデンソー大安工場からクランクセンサの全量移管が完了しました。この製品の移管には複数年掛かりましたが、古い設備は再塗装、アクリル板の交換等で新規設備と見間違える程きれいになりました。安全・品質に徹底的にこだわりお客様に満足して頂ける製品を生産していきます。

クランクセンサ移管（8月）

## （２）PRエリアオープン TOPIC

2021年12月に『若年者受けするスマートさ』+『デンソートリムのモノづくり』をコンセプトにした会社のPRエリアをオープンしました。タッチパネルを用いた製品紹介や、実際に体験可能なペグボードを使用した作業速度体感機を設置し、訪れたお客様には大変ご好評いただいております。

PRエリアオープン記念（12月）

## （３）V2H設置・プリウスPHEV追加 TOPIC

2022年2月にデンソー製のV2H-充放電器を設置し、初のプラグインハイブリッド電気自動車であるプリウスPHEVを社有車として迎え入れました。停電時にはプリウスPHEVに蓄電された電力を使用しエントランス、会議室へ電力を供給することができます。非常時には近隣住民にも使用して頂くことも可能です。

V2HとプリウスPHEV（2月）

## （４）大安工場規模拡大 TOPIC

2021年7月より、W/A №5ラインのワイヤダントツ化を実現し、2021年度末には、トリム大安工場は130人規模の事業所となりました。2022年度末には300人規模になる見込みです。また、１階事務所内の人員増加に伴い、２階に新たに事務所を建設しました。

２階新事務所

# ２．社長メッセージ

デンソートリムはデンソーグループの一員として、二輪車用エンジン制御製品・四輪車用エンジン制御製品・電子製品の開発・設計・生産といった事業を担っています。

デンソーグループは「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命とし、この使命を達成するために、全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を実践できるように「デンソーグループサステナビリティ方針」を定め、実行しています。

デンソートリムのこの方針に従って、日本、海外での企業活動を通じて、率先して社会の持続的な発展に貢献を続けています。

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）＊」を達成するために、会社スローガンを「技術と技能と感性を磨きお客様に喜ばれるモノづくり」としました。

環境においては、ハイブリッド等の排気ガス低減や地球環境に優しい製品の開発・設計・生産や工場における省エネルギー活動等に取り組んでいます。また地域社会との共生にも取り組み、地下水を利用した空調エネルギーの低減や環境保全のボランティアにも積極的に参加しています。

社員を大切にする活動としては、健康経営に努め「健康経営優良法人」認定を取得し社員の健康管理に最優先に取り込むことや、技術棟・モノづくり棟に技術・技能を磨き上げる道場を開設し、社員のやる気と能力を高める活動を強化しています。

現在、世界的に蔓延している新型コロナウィルス(Covid-19)の感染で、グローバル経済や企業活動に大きな影響を与えています。容易に対策できる状況ではありませんが、今こそこれまで続けてきた感染対策や従業員の意識向上をした上での事業活動を継続していくことが最重要と考え、今後も社会、地域、お客様、関係会社そして従業員の皆さんに喜んでもらえる持続的な発展に会社一丸となって取り組んで参ります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

２０２２年９月
株式会社デンソートリム
取締役社長　水野　功

＊持続可能な開発目標（SDGs）とは?
2015年9月に150を超える首脳が参加する「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択。人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。
この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」 です。「サステナビリティ」を考える上での世界の共通言語として位置付けられるものです。

# ３．製品概要

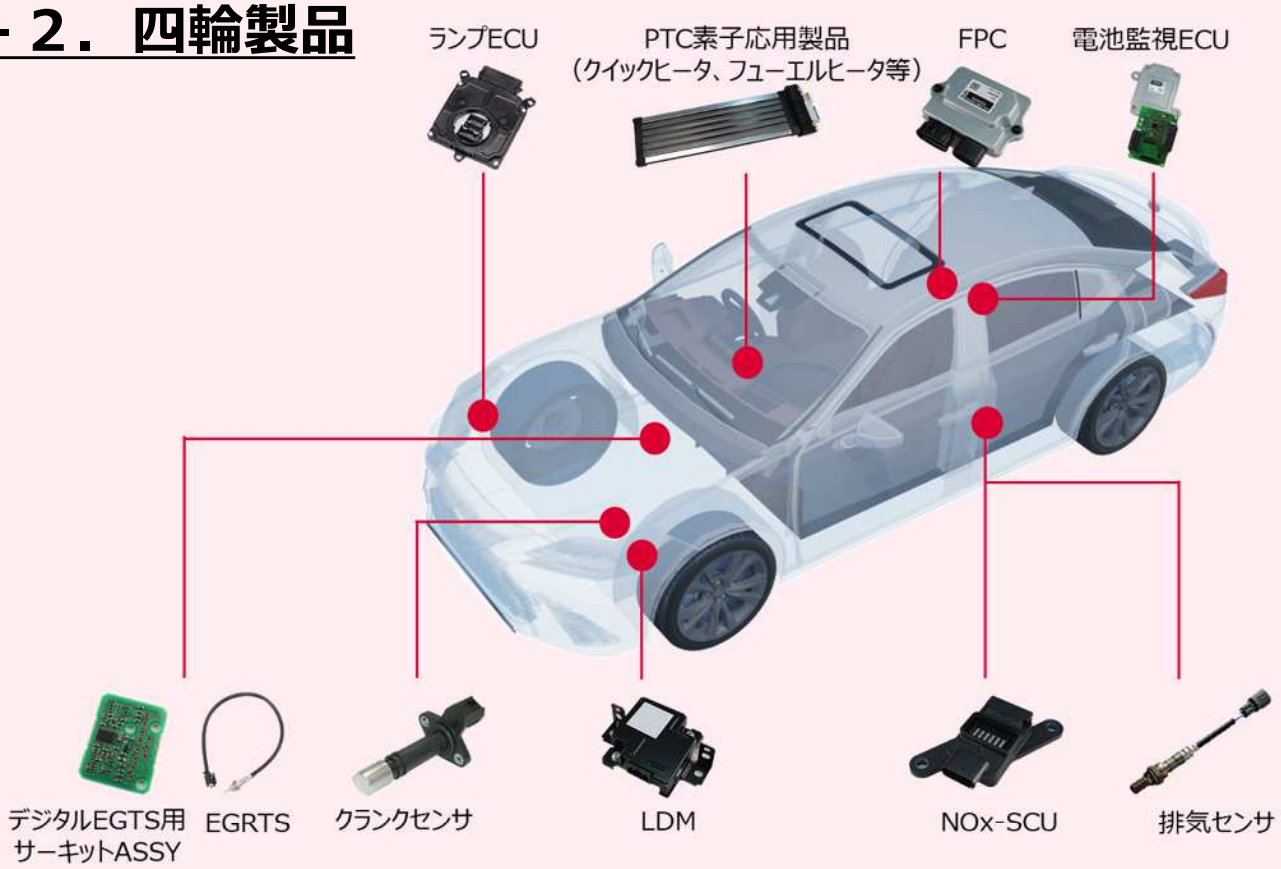
デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ＡＣジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンＥＣＵ・ランプＥＣＵ・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「Ｏ２センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。

## ３－１．二輪製品

| | |
|---|---|
| ACジェネレータ … | 永久磁石を用いた、二輪車用発電機であり、電気を電装部品に供給し、かつバッテリに充電するために必要な製品。加えて、エンジン回転を安定させるフライホイール機能を持ち、エンジンの最適制御を可能とする独自技術の突起を備え、OBD2規制対応に貢献しています。<br>また世界各地で材料を現地調達しており、部品輸送のCO2排出低減に寄与しています。<br>近年、固定子のコイルにアルミ線を採用した発電機を独自開発し、軽量化にも貢献しています。 |
| アイドルストップ用スタータジェネレータ… | ACジェネレータに、エンジン始動のスタータ機能を追加した製品。エンジン直結でブラシレスのため、摩耗部がなく、始動が早く、静音性に優れています。<br>二輪では希少なアイドルストップを可能とし、低燃費化に貢献しています。<br>また、回転子は接着剤を用いない構造としており、加熱硬化を廃止した環境に配慮できる製品です。<br>製品を標準化し、お客様に貢献しています。 |
| エンジンECU … | 燃料をエンジンにタイミングよく、そして最適に噴射するために電子制御を行います。燃焼をコントロールすることでエンジン本来の性能を高め、高出力化、燃費向上、クリーンな排気を実現します。 |
| ＣＤＩアンプ … | エンジン回転数に応じてエンジンの点火時期を適正に制御する二輪車用電子制御装置です。燃費向上と排気ガスのクリーン化に貢献します。 |
| 排気センサ … | 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。 |

# ３－２．四輪製品




| | |
|---|---|
| 排気センサ… | 排気ガス中の酸素（O2）濃度を検出するセンサです。排気ガス中の酸素濃度により、コンピュータ（ECU）で最適なエンジン燃焼状態に制御し、排気ガスの低公害化を図ります。 |
| ＰＴＣ素子応用製品… | 自己温度制御特性を有したセラミック素子（PTC素子）が組み込まれたヒータです。自動車用エアコンユニット内に搭載され、エンジン水温が低い状態でも車室内を素早く暖め、快適な空間を提供します。 |
| クランクセンサ… | エンジン回転数とクランクシャフトの角度位置を検出するセンサです。エンジン制御ECUが最適な点火時期制御、燃料噴射量制御等を実施できる状態にします。 |
| ＥＧＲガス温センサ… | 温度と相関のある抵抗値を示すセラミック素子が組込まれた温度センサです。車の排気ガス中の窒素酸化物低減の為に、排気ガスの一部を吸気側へ再循環させるEGR システムにおいて、再循環させた排気ガスの温度をモニターします。 |
| ランプＥＣＵ… | LEDヘッドランプの点消灯制御と光軸制御を行なう電子制御装置です。夜間走行の視認性を大幅に高め、省エネに貢献しています。 |
| ＬＤＭ… | LEDヘッドランプの明るさを一定に制御する電子制御装置です。夜間走行の視認性を確保し、省エネに貢献しています。 |
| 電池監視ＥＣＵ… | ハイブリッド車の電池ユニットの電圧、電流、温度を監視する電子制御装置です。HV-ECUに監視情報を伝えます。 |
| ＮＯｘ-ＳＣＵ… | 車両から排出される有毒なNO x を検知するセンサが組み込まれた電子制御装置です。車両から排出されるNO x 排出量を低減させ厳しい排気ガス規制に対応する事で地球環境保全に貢献します。 |
| デジタルEGTS用サ-キットASSY… | 車両から排出される排気ガスの温度センサを組み込んだ電子制御装置です。エンジンからの排気経路にセンサを配置する事で 省燃費に貢献します。 |
| ＦＰＣ… | エンジンへの燃料供給量を制御する電子制御装置でエンジンECUからの信号により燃料ポンプへ最適な燃料を供給し燃費向上に貢献します。 |

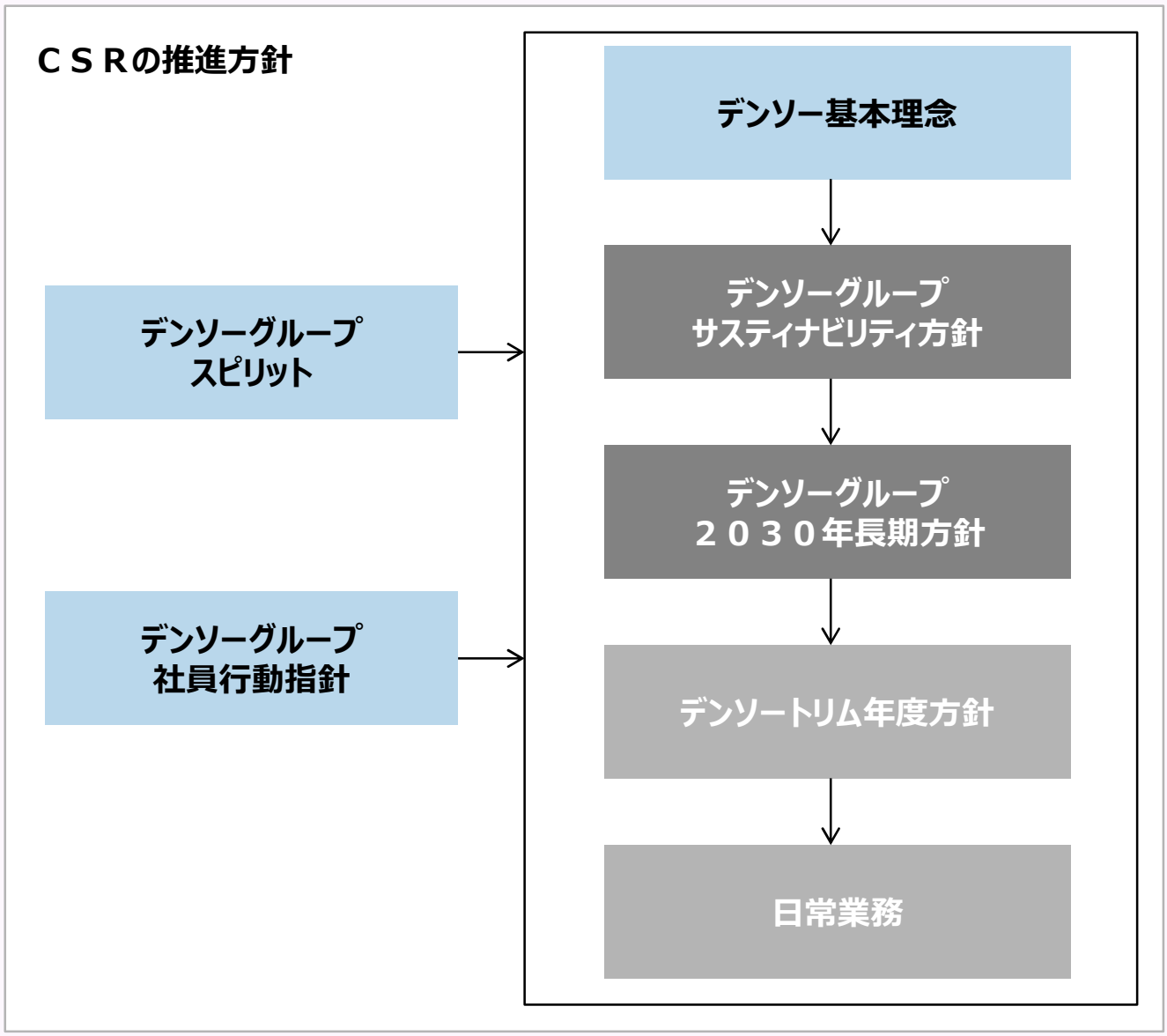
# ４．デンソートリムのＣＳＲ

## ４－１．基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに2018年12月には、「デンソーグループサスティナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このようにデンソーグループはＣＳＲ（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility )を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てＣＳＲ活動を推進しています。



## ４－２．デンソーグループサスティナビリティ方針

デンソーグループは、「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」を会社の使命としています。この使命を達成するために、デンソーグループの全ての従業員が、グローバル企業としてふさわしい行動を、社会やステークホルダーとのつながりの中で実践できるように「デンソーグループサスティナビリティ方針」を定めました。

**【宣言文】**（抜粋）

**私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。**

（１）変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、 社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。

（２）国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。

（３）労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。

（４）社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

## ４－３．デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

項目

Ⅰ．デンソーグループの一員として　　Ⅱ．生き生きとした職場を目指して
Ⅲ．あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
Ⅳ．仕入先との共存共栄を目指して　　Ⅴ．株主の信頼と期待に応えるために
Ⅵ．社会と共生するために

## ４－４．デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。

企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

# 5．社会性報告

## 5－1．お客さまとともに　－品質－

**関連するSDGs**

品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。そのために、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上に繋げています。

### （1）品質保証の基本方針

**1．お客様に対する品質第一主義に徹する**

**2．仕事の各段階で最初から正しく品質保証する**

**3．全員参加による品質管理を推進する**

### （2）社員教育

①基伝館（社内教育訓練道場）

モノづくりに必要な知識・技能を習得する場としてモノづくり棟2Ｆに設け、座学（OFF-JT）と実技訓練（ON-JT）を実機・実践に近い形で、新入社員はもとより中堅・職制まで全員を対象に教育、各種検定訓練、試験を開催し人材育成を推進しています。

②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為のメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

| | 階層別教育<br>マネジメント | 職能別教育<br>事務分会 | 職能別教育<br>技術分会 | 職能別教育<br>技能分会 |
|---|---|---|---|---|
| **管理職** | ・LEMS<br>・部長特訓スクール<br>・論文執筆<br>・課長研修 | | ・新任課長品質<br>・新任課長特許/輸出管理 | ・専門分野管理者教育<br>（TIE、TPM等） |
| **指導級** | ・課題形成能力向上<br>・MBC<br>・リーダー強化<br>・班長教育 | | ・新任係長品質<br>・新任係長特許/国際標準化/輸出管理 | ・高度技能研修<br>・職長教育<br>・TIE/PM　上級<br>・品質管理　上級 |
| **中級** | ・5等級研修<br>・現場力を高める<br>・人の扱い方<br>・課題発表 | ・5等級研修報告会<br>・ロジカルシンキング | ・技術検定<br>・SQC実践活用<br>・原価と原価管理 | ・基礎技能研修<br>・各種安全衛生資格講習<br>・TIE/PM　中級<br>・品質管理　中級 |
| **初級** | ・問題解決<br>・働く心構え | ・製品知識<br>・業界知識<br>・原価基礎<br>・トヨタ生産方式 | ・テクニカルスキル研修<br>・品質<br>・コストエンジニアリング基礎<br>・特許・輸出管理 | ・TIE/PM　初級<br>・品質管理　初級<br>・異常処置<br>・職場の基本 |

## ③ＱＣサークル

創業時より活動しているＱＣサークル活動は、サークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活力に満ちた生きがいのある職場づくり、お客さま満足度の向上及び社会への貢献を目指しています。

新型コロナウイルス感染防止対策のため活動自粛期間もありましたが、全社で徹底した3密対策を講じながら、60サークル計567名がＱＣ手法などを学び、活用しながら、管理・改善に取り組んでいます。

例年参加し「石川馨奨励賞」をはじめとした数々の賞を頂いてきたQC三重地区・東海地区主催の社外大会へは参加自粛の判断をしながらも、社内大会においては活動の成果を“現地現物現実”で確認するなど、活発なサークル活動を推進しています。

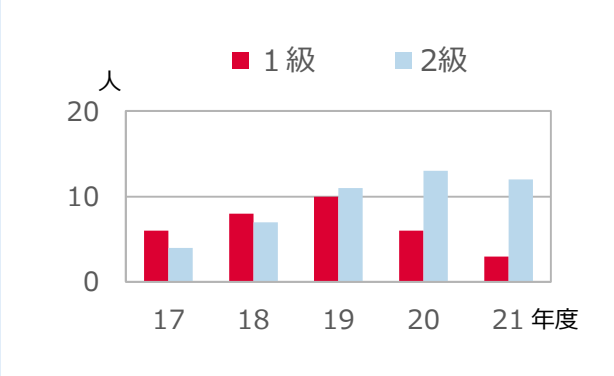
**QCサークル活動の様子**
**※3密対策：衝立(対面・左右)など**

**社内大会の様子**

## ④社内技能検定

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な実技試験【機器組立、計測、設備診断(1級)： 品質チェック(2級)】 と学科試験を設定し、全ての試験を合格とした社員を製品製造装置オペレータとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。

本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。更に当社から三重県に働きかけて「三重県技能評価認定制度」が創設され、2020年当社社内検定制度が三重県の認定第一号を取得。これにより合格証に三重県知事名が記載される事となり、2021年度には一見 勝之知事名入りの合格証が1級3名2級12名に授与されました。



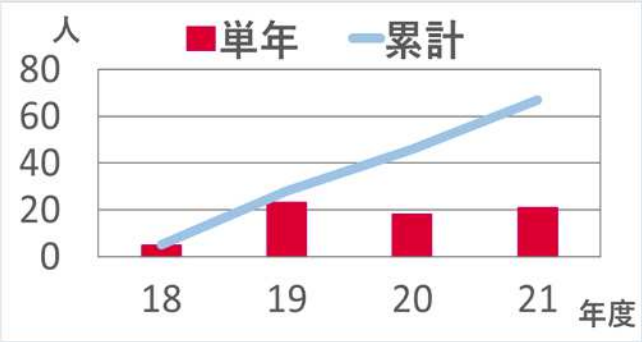

**社内検定認定者数推移**

**検定試験の様子**

## ⑤二輪道場（バイク教室）

二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の知識・技能の向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。

道場では2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加する「バイク教室」を開講しており、参加者が自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組立てしたり、システム動作を確認する等して、二輪車の構造に関する見識を深めています。2021年度までに延べ67名がこの教室を受講しており、今後も順次技術系の社員を中心に受講していく予定です。




**バイク教室受講人数推移**

**バイク教室の様子**

## ⑥ モノづくりＤＮＡ研修【生産コース】の立ち上げ

TOPIC

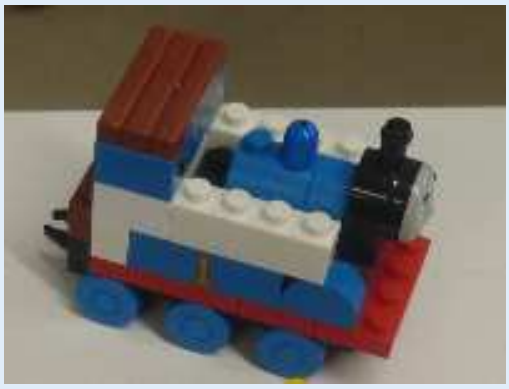
モノづくりＤＮＡとは「良い製品(物)を作り、良い人(者)を育て続ける姿」の継承であり、「物」と「者」を合わせて「モノ」と称しています。

＜研修の狙い＞モノづくりに携わる全ての人を対象に生産現場の仕事の進め方・マインドを体得し、自職場で改善・運用できる人材を育てる事です。

＜内容＞初めに IE＊の基礎であるムダの見つけ方と改善手法を学びます。その後、研修生全員が主役となり、品質及び生産性(人:ムダ取り/機械:効率化)の面から模擬製品を使用し、品質と安全はもちろん、納期とコストに拘って皆で知恵を出し合い生まれのよいラインをゼロから作り上げる。そのラインで生産活動実践を通じて体験する「気づきや失敗」を自職場の改善に繋げていく研修。加えて、モノづくりの難しさ、改善の楽しさ、チームワークの大切さが体感できる研修を進めています。

＊IE（Industrial Engineering＝生産工学)物づくりに於ける「人」「機械」のムダ発見と効率化改善の技法

**模擬製品と教室内に作ったライン**



**模擬製品**

# ５－２．社員とともに

**関連するSDGs**

## （１）コミュニケーション

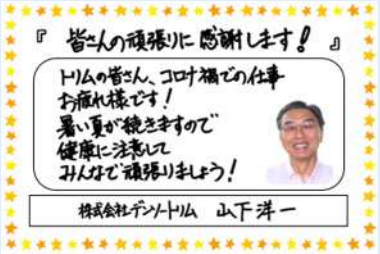
### ①全社朝礼

例年は毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催しておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止及び通信環境への配慮から、事前に録画した内容を自席や職場で聴講する形へ変更しました。当日の夜勤者や聴覚障がい者にも内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストと全社朝礼ダイジェスト動画を作成し、各職場やサイネージ（大型液晶パネル）での展開を実施しています。

全社朝礼配信の様子

### ②ありがとう活動 TOPIC

コロナ禍でもできる活動として、従業員への感謝を伝えるという企画を実施し、社長からの感謝を「メッセージカード」にして全従業員へ配付しました。カード裏面は 構内売店で交換可能なアイスまたはジュース引換券となっております。




社長メッセージ（8月）

### ③元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。2021年度には新型コロナウイルスの影響で活動が減りましたが、以下のような活動を行いました。今後も当社が明るく元気な会社となれるよう、活動を実施していきます。

七夕フォトコンテスト表彰(左)・グランプリ作品(右)

7月　七夕フォトコンテスト

9月　グリーンフォトコンテスト

12月　手作り門松設置

従業員への感謝プレゼント、

社名ロゴ入りどら焼き配布

グリーンフォトコンテスト表彰(左)・グランプリ作品(右)

感謝プレゼント配布の様子（12月）

### ④社員親睦

より良い職場環境を築くべく、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となり運営しています。例年は多くの企画を開催しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、2021年度は以下の企画のみの開催となりました。

【2021年開催親睦企画】

11月　トリム健康ウォーキング

健康ウォーキング（11月）

### ⑤永年勤続表彰

創立25周年を迎えた2015年から開始された永年勤続表彰は勤続20周年の表彰から始まり、2021年4月には初の勤続30周年を迎えました。永く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、さらなるモチベーションアップに繋げる目的で実施しています。2021年4月には、勤続30年を迎えた23名と勤続20年を迎えた29名を対象に賞状と記念品が贈呈されました。

永年勤続20周年

永年勤続30周年

## （２）多様な人々が活躍できる職場づくり

当社はダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう様々な活動を推進しております。

### ①障がい者雇用

誰もが働きやすい会社を目指しており、現在、障がい者雇用率は法定を上回っております。

また、コロナ禍以前は、横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期開催し、そこで会社や職場への要望等も確認・対応しておりました。状況を見極め、適切な時期の再開を検討しております。

### ②ワークライフバランスの支援

多様なライフスタイルの社員にとって働きやすい会社を目指し、仕事と私生活の両立を支援するための柔軟な制度を整備しています。特に育児休業制度については、仕事を辞めることなく育児に集中してもらえるよう、法を上回る内容を規定しており、男性の育児休業等の利用を推奨しています。

## ③テレワーク(在宅勤務)制度の導入

職業生活と家庭生活の両立に資する雇用環境の整備の一環として、テレワーク(在宅勤務)制度を導入しております。同制度の活用により、育児・介護・家事の時間を確保しながら働くことや、台風などの災害時でも通勤が不要なことから、社員の安全を確保した上で、自宅で安全に業務を行うことができます。

**テレワーク(在宅勤務)制度利用者の声**

私の職場では有事の際の対応として、テレワーク制度を導入してもらいました。家族がコロナに感染し自宅待機となり、初めてテレワークを活用することができました。以前なら業務がストップしてしまう所でしたが、家庭で子供をみながら仕事を進める事ができ、本当に助かりました。仕事姿を見た子供から『ママすごい！』と言われたのは嬉しかったです。また、小学校の新学期が始まり、いつ学校が休みになるのか不安を持ちながら働いていますが、テレワークの体制を整えてもらったことで、不安が解消されました。今後も、働きやすい職場になる様、上手く活用していきたいです。

**検査課　江川さん**

## ④シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限発揮できる環境や制度の整備を推進しています。

i　ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
ii　振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後　５年で、生活設計を再度考える）
iii　ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）
iv　キャリアアソシエイト制度(意欲・能力のある方の60歳以降の活躍を推進する)
v　65歳以降雇用(個人スキルを有する方の指導員制度あり)

**キャリアアソシエイト制度利用者の声**

60歳定年後の再就職の場として、デンソートリムを選択させていただきました。入社後はこれまでの工場管理、物流改善、プロジェクト推進事務局やシステム設計の経験を活かし、DXの分野でF-IoT推進のサポートや若い技術者の指導員として皆さんと一緒に遣り甲斐,生き甲斐を感じられる毎日を過ごしています。

**デジタル推進室　後藤さん**

## ⑤アスリート採用　TOPIC

当社は、三重県からの依頼に伴い、地域貢献の一環としてアスリート採用を積極的に行っています。2021年4月には福元 浩太郎さん(男子バレーボール　インカレ準優勝)が入社しました。会社としては、強化練習や公式戦が平日に行われる場合は、公休を適用するなどし、仕事とバレーボールを両立できるよう、福元さんを支援しています。

**アスリート採用者の声**

21年4月にアスリート採用として迎えていただき、現在業務に取り組んでいます。バレーボールとの両立は厳しいこともありますが、職場の方々からのご理解・ご協力、温かいご声援によって働きやすい環境を与えていただいており、業務とバレーボールの両立ができています。どちらかに偏ることなく、これからも双方に本腰入れて頑張りたいです。

**試験実験課　福元さん**

# （３）健康経営の取り組み（こころとからだの健康管理）

デンソートリムでは、経営理念にある「共に働く仲間一人ひとりが幸せで充実した人生になるように努力する」を実践するため、社員が健康第一でいきいきと働くことができるよう、健康増進活動を全社で推進しています。

2021年度は、デンソートリム健康経営リスタートと位置づけ、現在の健康課題に応じた施策を立案、2025年を中期目標とし目標値を持って取り組んでいくことを、管理職はじめ従業員へ説明会を実施するなど、健康経営を理解・共有してもらう活動を行いました。

その他の具体的な取り組み内容として、

１）生活習慣病対策

①朝食摂取②早めの夕食③適切な運動④適切な飲酒⑤十分な睡眠⑥禁煙の６項目において、従業員80%以上達成を目標に、健康情報発信や年1回の体力測定（椅子立ち座りテストと2ステップテスト）の実施等、予防面にも取り組みを広げています。特定保健指導では、初回面談の就業時間内実施を可能とし、職場とも連携して受診勧奨を行い、実施率向上に取り組んでいます。

２）メンタルヘルス

ストレスチェック高ストレス者への産業医・保健師による全員面談、復職支援制度等、早期発見・再発防止に力を入れています。

３）がん検診

がん検診の受診率向上のため、40歳以上の便潜血検査、腹部エコーに加え、婦人科がん検診も定期健康診断と同時受診可能な体制を整えました。

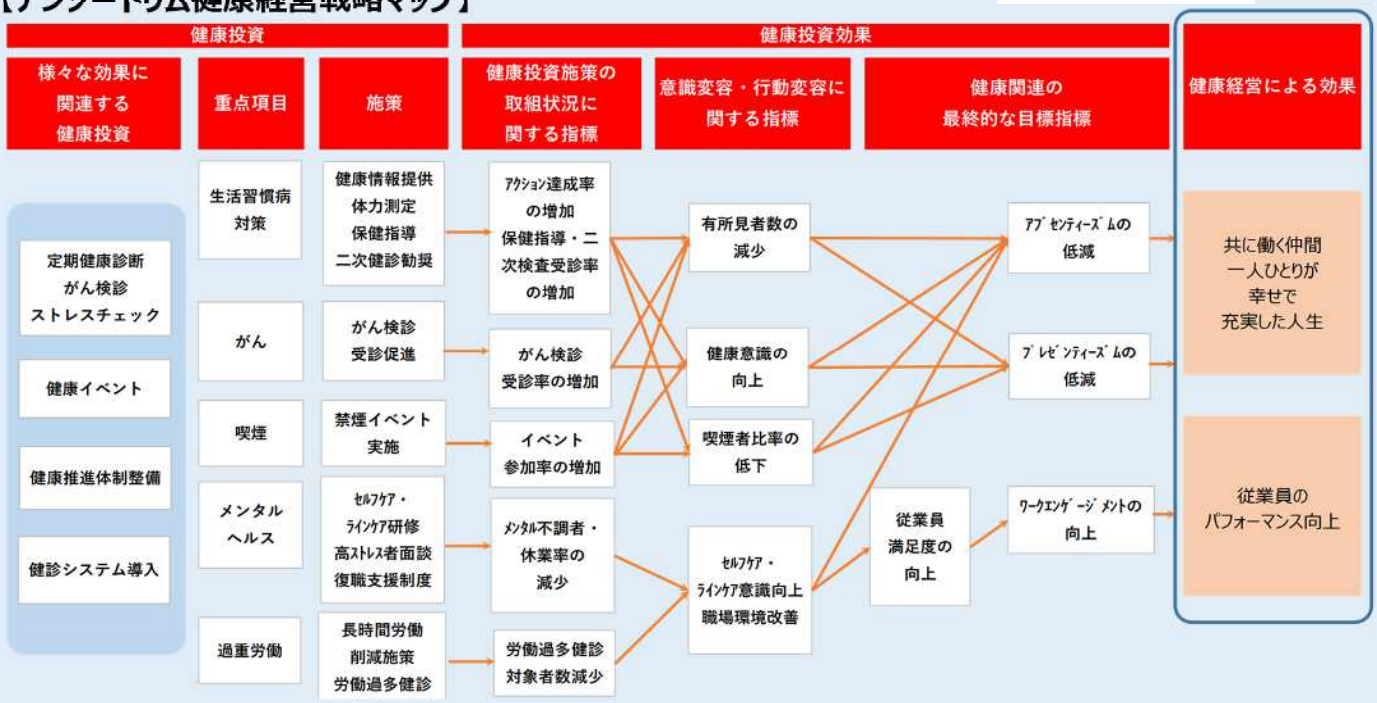
４）喫煙対策

2021年4月から敷地内紙巻タバコ禁止としました。年々社員の喫煙率は減少しており、引き続き禁煙促進活動を実施します。

これら取り組みにより、デンソートリムは2020年から3年連続で、「健康経営優良法人」の認定を受けています。

2022
健康経営優良法人
Health and productivity

**【デンソートリム健康経営戦略マップ】**



# （４）安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害以上０」を継続しており、2016年1月18日には第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

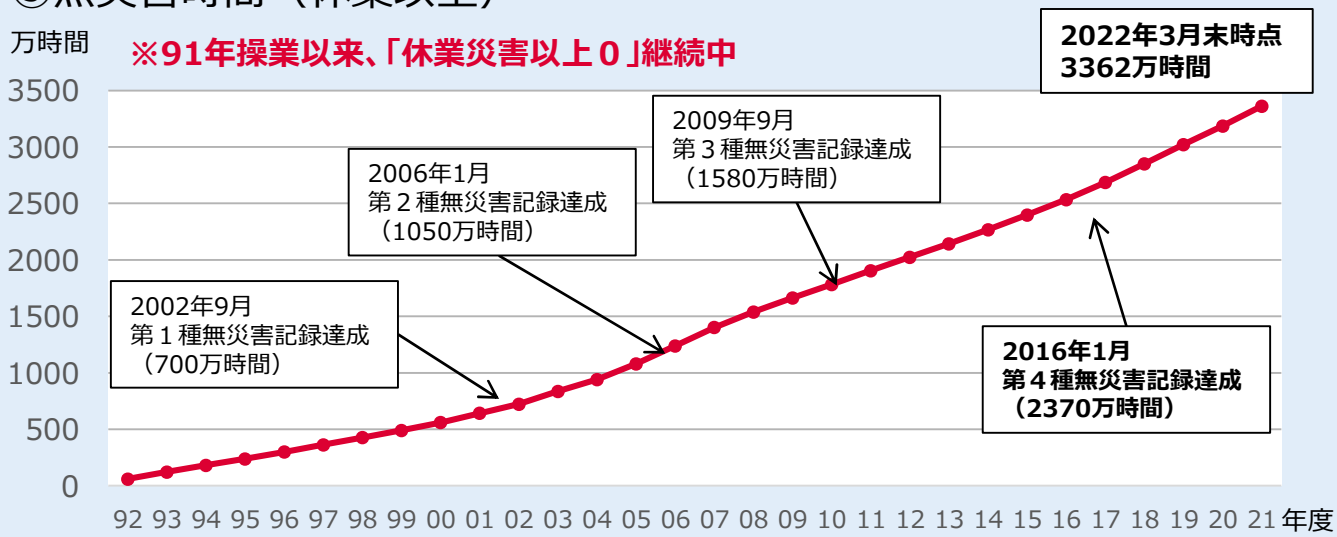
## ①安全指標（2021年度）

| 管理項目 | 目標 | 実績 | 評価 |
|---|---|---|---|
| 重大災害 | ０件 | ０件 | ○ |
| 休業度数率 | 0 | 0 | ○ |
| 出火事故 | ０件 | ０件 | ○ |
| 職業性疾病 | ０件 | ０件 | ○ |

## ②安全施策

| | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 自発的に安全行動できる意識の浸透 | ３Ｓ　対話３-３　安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底 | | | | |
| | 安全基本行動の教え込み | | | | |
| | 班長安全宣言 | | | | |
| リスク先取りによる重大災害防止対策強化 | 公開段取　トップ層による確認 | | | | |
| | トップ安全・５S診断・環境重要設備巡回 | | | | |
| | 重大リスク低減安全対策 | | | | |
| | フォークリフト／大型開口部／成形機／クレーン／ローラ点検 | | | | |
| | 安全装置無効化防止対策<br>いじり防止ネジ装着 | | | | |
| マネジメントの強化 | OSHMS全社活動／化学物質強化 | | | | |
| | | | | ISO45001<br>取得(大安) | |

## ③無災害時間（休業以上）



第四種無災害記録認定証

安全道場

経営層による安全診断（公開段取り）

# （５）SDGs活動

当社ではSDGs達成に向けて身近な事からSDGsに繋がる活動を行っております。

## ①“SDGsコーナー”設置 TOPIC

2022年3月より、多くの従業員が集う食堂前と工場通用口付近に“SDGsコーナー”を設置しました。SDGsコーナーではSDGs行動の紹介やちょボラ回収を行っております。

以前より回収していた①ペットボトルキャップ②プルトップ③使用済み切手に加え、新たに④書籍⑤コンタクトレンズケース⑥テトラパック⑦ベルマーク⑧使用済みカートリッジの回収を始めました。

SDGsコーナー

## ②“SDGsツリー”の掲示 TOPIC

2022年3月に開催した“みんなでやろにSDGs月間”に合わせ、SDGsツリーポスターを作成しました。一人ひとりが自分のSDGs行動宣言を記入したポスターを食堂前通路に掲示し、みんなのSDGs行動を共有できる場を設けました。

SDGsツリー

## ③印刷物にフェアトレードペーパーを使用 TOPIC

SDGsの17目標すべてにつながっている日本初のフェアトレード認証の紙であるバナナペーパー（※1)を用いて、CSR報告書や名刺を社内印刷しています。社内印刷し、配布物の在庫を抱えないことで、廃棄を無くすことにも成功しています。

※１バナナペーパーとはアフリカのザンビアのエンフウェ村のバナナ農家（オーガニック）や村の人々とのコラボで生まれ、人、森、野生動物を守り、環境と社会に価値を産み出すフェアトレードな地球にやさしい紙です。 日本の越前和紙の工場とアフリカのバナナ農家や村の人々とのコラボで生まれ、人、森、野生動物を守る紙です。

Banana & Planet

バナナペーパー認定マーク

## ④手洗い場にSDGsポスターを掲示 TOPIC

社内のすべての手洗い場にSDGsにまつわるポスターを掲示し、手洗い場の美化をSDGs目線で呼びかけています。

## ⑤福祉施設へ職服・マスクの寄付 TOPIC

「菰野町わかば作業所」様へ社会貢献活動の一環としてユニフォームとマスクを寄贈しました。作業所の方には大変ご好評いただきました。今後も地域に根差した活動を継続していきます。

菰野町わかば作業所様にて

# ５－３．地域・社会とともに

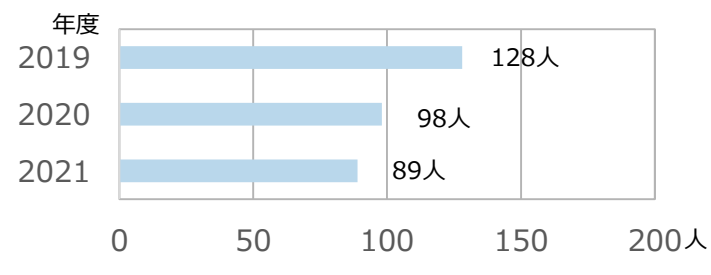
**関連するSDGs**

## （１）社会貢献活動

当社では地域社会の一員として様々なボランティア活動を行っています。当社はこれらの活動を「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組みとして、今後も大切にしていきます。

### ①献血活動

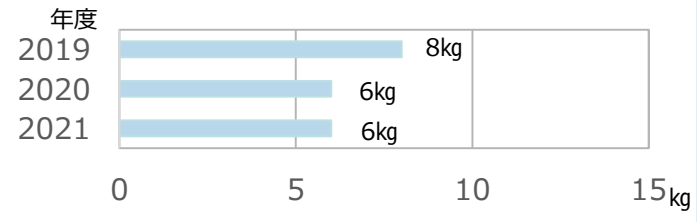
私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年２回（春・秋）実施しています。



**献血活動の様子（11月）**

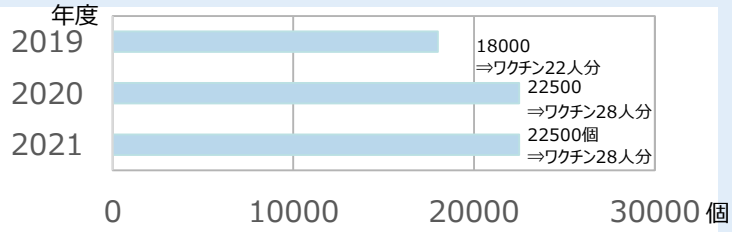
### ②空き缶のプルトップ収集（2009年～）

障がいのある子供たちに車いすを贈るためにプルトップ収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



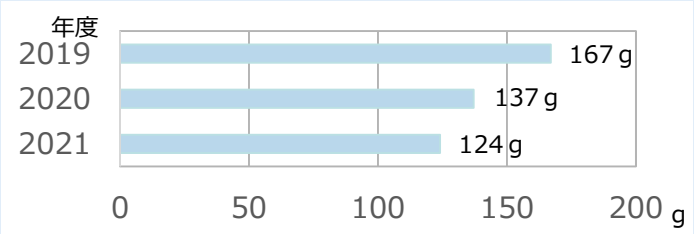
### ③ペットボトルのキャップ収集（2010年～）

世界の子供をワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。本館と技術棟入口に収集ＢＯＸを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると（2400個）３人分のワクチンが購入可能となります。



### ④使用済み切手収集（2013年～）

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



## （２）交通安全活動

当社では交通安全行動を率先垂範できる社員づくりを目指すとともに、地域社会の交通安全に貢献していくため様々な活動を行っています。これらの活動を評価いただき、2018年6月に三重県交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受けました。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転・無免許運転・ひき逃げ・当て逃げ・暴走行為を悪質運転と呼んでいます)の根絶に努めています。社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるよう努めております。

| 実　施　項　目 | | 内　　容 |
|---|---|---|
| 社員への交通安全教育 | 新入社員の通勤経路同乗指導（4月） | 免許取得１年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施 |
| | 交通安全タッチ＆コール（毎日） | 毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施 |
| | 長期連休前交通安全メッセージ放送（8月・12月） | 夏季連休・冬季連休前の稼働最終日に社長からの交通安全メッセージを全社放送 |
| | 新入社員運転実技指導（10月） | 職場上司が指導員となり、会社駐車場にてバック駐車の実技指導を実施 |
| | 筆記式運転適性テスト（2月） | 若年者の交通事故低減に向け、30歳以下従業員を対象に筆記式の安全運転チェックテストを実施 |
| 通勤車両管理 | 西門立哨（月1回） | 当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施 |
| | 通勤車両チェック(随時) | 違法な車両が無いか確認を実施 |
| 地域活動 | ミルミルウェーブ（年2回） | 四日市西交通安全協会主催の、街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施 |
| | 地域立哨（月1回） | 地元地域での街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施（永井交差点にて） |

※2021年度は新型コロナウィルス感染症対策のため、上記実施項目の一部を中止しております。

長期連休前
交通安全メッセージ放送

社内トップ立哨

ミルミルウェーブ

# 6．環境報告

**関連するSDGs**

デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループを目指しています。そのために、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ）」、「クリーン×２（環境負荷低減）」、「グリーン×２（環境保全）」に取組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。

〔デンソーエコビジョン２０２５〕

## 6－1．デンソートリム環境方針

### （1）理念

**当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。 この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。**

### （2）方針（骨子）

**1．法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。**

**2．製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。**

**3．環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。**

**4．地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。**

**5．この環境方針は社内外へ公開する。**

スローガン：**「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」**

# ６－２．環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。

**環境管理組織**

**総括環境管理者**
**環境管理の総括：社長**

↓

**環境管理責任者**
**環境管理の責任者：本部長**

↓

**環境管理者**
**各部環境管理改善計画の推進：部長**

↓

**環境責任者**
**各課の計画推進：課長**

↓

**環境推進者**
**各係・班の計画推進：係長・班長**

←

**ISO14001事務局**
**継続審査及び内部監査の実施**

**環境負荷物質低減のため**
**部署間の枠を越えた専門部会活動**

**省エネルギー部会**
**$CO_2$排出量低減**

**廃棄物低減部会**
**資源有効利用推進**

**PRTR部会**
**環境負荷物質排出量低減**

PRTR：有害化学物質排出移動量登録制度

# ６－３．環境行動計画

## （１）2021年度の取組項目と実施事項

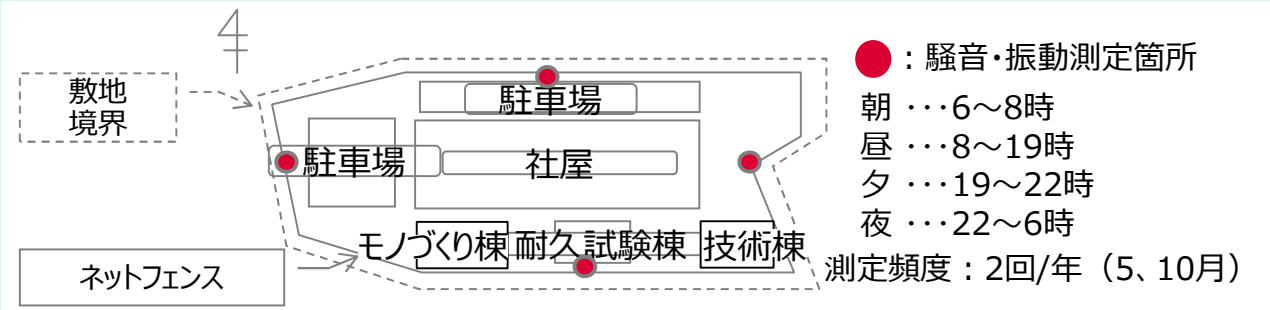
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取組んでいます。

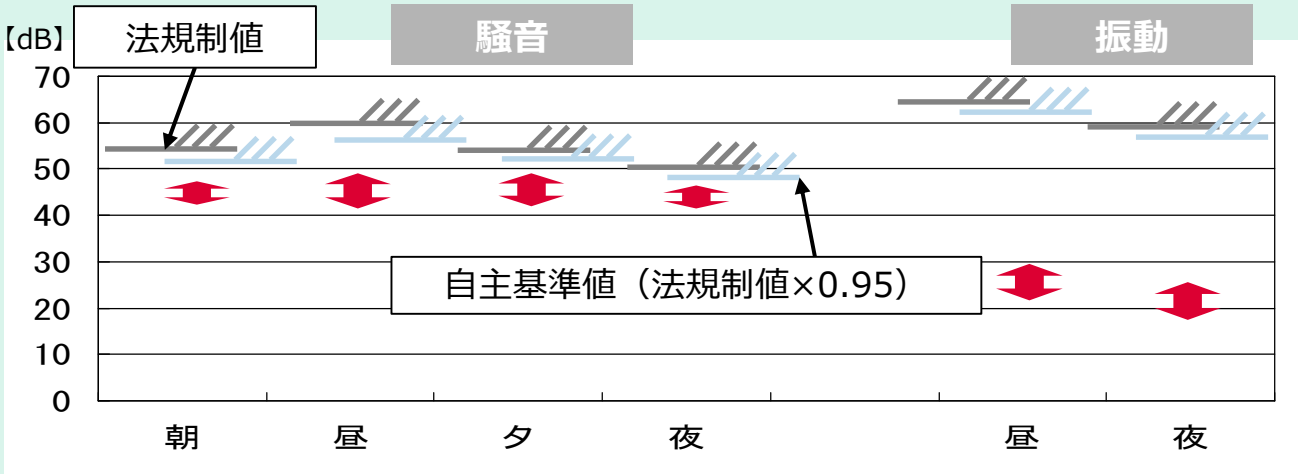
| デンソー<br>エコビジョン | 項目 | 取組み方針 | 実施事項 |
|---|---|---|---|
| 究極の燃費性能 | 車社会における消費ｴﾈﾙｷﾞｰ製品の開発及び生産 | 低燃費に貢献する製品の設計及び製造 | ２輪車用ｱｲﾄﾞﾙｽﾄｯﾌﾟ製品の開発及び生産<br>低燃費関連製品である０２センサやハイブリット関連製品の製造 |
| ﾐﾆﾏﾑCO2ﾓﾉづくり | 生産CO2削減 | 省エネルギーの推進 | 目標：$CO_2$排出量 12年度比▲30% |
| 低炭素なくらし・移動 | 業務移動における化石エネルギー使用の低減 | 社有車更新・導入時エコカー導入 | 社有車へドライブレコーダーを装着　エコドライブの推進 |
| エコマテリアル＆ローエミッション | グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進 | デンソーからの展開事項の順守 | デンソー図面指示の順守100% |
| ミニマム環境負荷生産 | 排出物削減 | 排出物削減の推進 | 目標：前年度実績の維持 |
| 環境意識・知識・スキル | 環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化 | 環境重要設備異常処置訓練実施<br>環境教育の実施 | 環境重要設備　４施設の訓練実施　　1回/年<br>従業員　２H/人　実施 |
| 環境価値創造のマネジメント | 環境ＣＳＲ情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進 | 環境コンプライアンス徹底 | 環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑの運用改善　（ISO14001認定更新）<br>法順守１００％ |

# ６－４．法規順守状況

## ・騒音振動測定結果

騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。

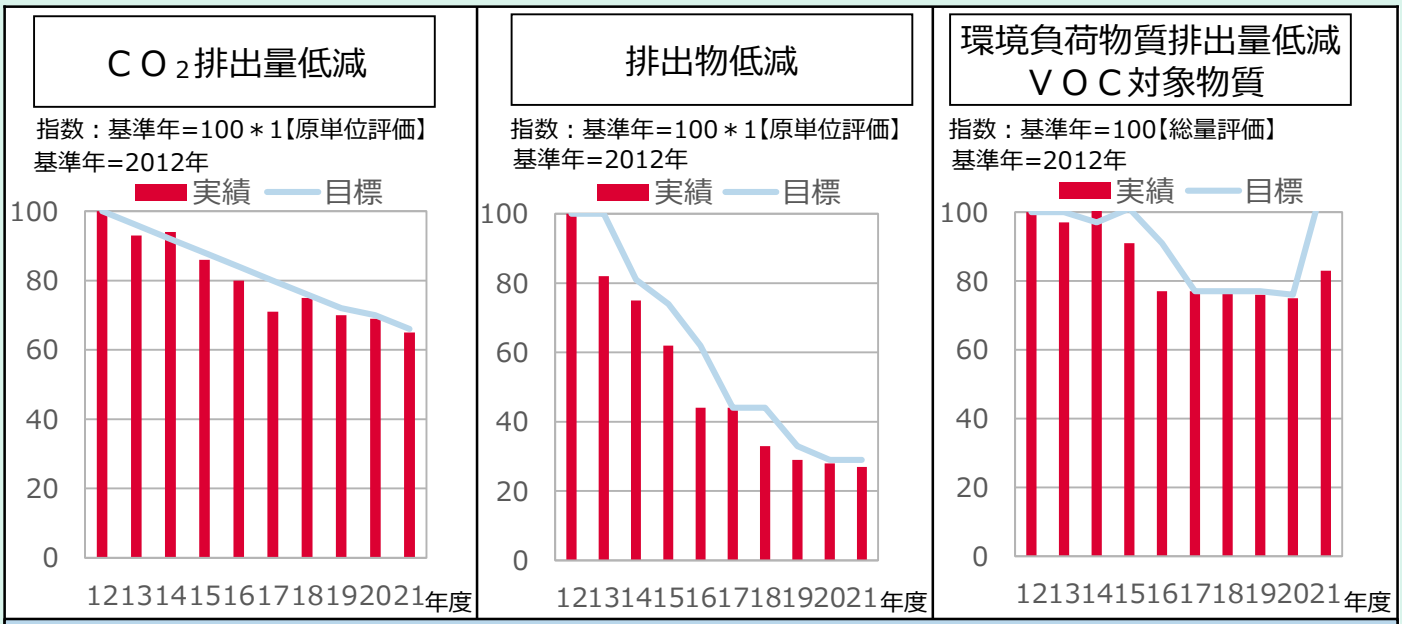



# ６－５．生産環境負荷削減

## （１）生産環境負荷の削減活動状況推移について

継続的な改善活動で2021年度目標は達成。さらなる改善に取り組みます。




| ＜主な取り組み＞ | | |
|---|---|---|
| 技術 空調ダクト見直し・搬送ファン導入 | 電子承認・回覧によるﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ | 防滴材塗布方法の見直し（全面→部分） |
| 管理 長期連休中のエアー漏れ点検実施 | 分別パトロールの実施 | 生産ラインの統合等 |

＊1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

# ６－５．生産環境負荷削減

## （２）省エネ活動 － 熱マネジメントの強化推進

トリムの使用電力のうち ¼が空調電力が占めております。この空調使用電力の最小化を目指し、「徹底した熱マネジメントによる空調負荷低減」を進めてきました。

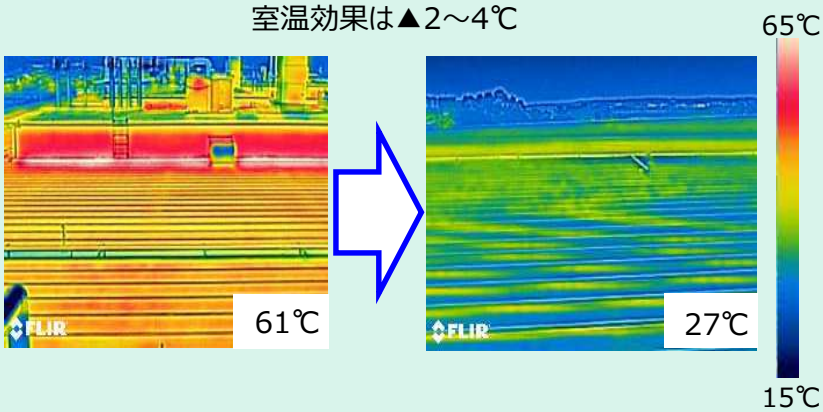
その中でも鈴鹿山脈の豊富な地下水を利用した地域性を活かした『屋上散水システム』が省エネに大きく貢献しています。

屋上散水システムは敷地内に井戸を設置し、一年を通じて水温が17℃の地下水をくみ上げ、工場の屋根に散水することで屋根の温度上昇を防ぎ、工場内の気温低減し空調負荷低減へ繋げています。

その効果は真夏日で ▲2,240kWh/D（▲36,736円/D）となります。

スプリンクラーを使用して工場屋根へ満遍なく
地下水を散水しています。

真夏日は屋根温度が▲34℃
室温効果は▲2～4℃




# ６－６．2021年度環境活動状況まとめ

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域からより信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

| 項目 | 実施事項 | 目標 | 2021年度実績 | 評価 |
|---|---|---|---|---|
| 法規則などの遵守 | 水質、騒音、振動定期測定<br>届け出報告実施 | 社内基準値以内<br>漏れなく実施 | 全て満足 | ○ |
| | 公害および苦情ゼロ | ０件 | ０件 | ○ |
| 環境負荷の削減 | ＣＯ２排出量低減<br>・排出量低減 | 12年度比<br>▲33.9% | ▲34.1% | ○ |
| | 資源有効利用推進<br>・排出量低減 | 前年度<br>実績維持 | ▲8.9% | ○ |
| 環境行動に関する地域貢献等 | 地域活動への積極的な参画<br>ゴミゼロ活動への参加 | ４回/年 開催 | 開催自粛<br>※21年度はコロナ<br>感染拡大防止のため自粛 | - |
| | 職場単位での環境教育の実施 | ２Ｈ/人・年以上 | ２Ｈ | ○ |

## 編集後記

当社では、2012年からＣＳＲ（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「ＣＳＲ報告書」を発行させていただいております。本冊子「ＣＳＲ報告書2022」では、「ＣＳＲマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2021年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。なお本報告書は、当社ホームページ（ http://www.densotrim.co.jp/ ）に掲載しています。

また、当社はＣＳＲ活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。 （株）デンソーの「統合報告書（https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/）」も併せてご覧下さい。

2022年 10月


発行者　株式会社デンソートリム
〒510-1222　三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460

発行日　2022年10月17日



お問合せ先　株式会社デンソートリム　人事総務部　総務室
TEL 059-391-0011　FAX 059-391-0050

株式会社デンソートリム

DENSO TRIM CORPORATION

生産地の環境・健康・経済を持続的に守る
バナナペーパーへの印刷で作成しています。
当社はSDGsを意識した誠実な企業行動を
実践していきます。